

第5回施設整備部会 議事録

(1) 日 時：令和4年11月16日（水）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（9名）、事務局6名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

・ 新中学校像（修正案）について

・ ZEB化について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（新中学校像（修正案）について）

部会長 ・ レジメにしたがって進めていきたい。最初に新中学校の学校像について事務局の説明をお願いしたい。

事務局 ・ 資料の3枚に渡るものが新中学校の学校像の修正案。これについては学校運営部会の方でさらに検討していくが、この部会では施設整備と関連するということで、皆さんのご意見をいただければと思う。以前に見ていただいた学校像の文章と比べるとかなり変わっていて分量が増えている。これまで開いてきたワーキングチームの先生方からのご意見とか、校長会にもご意見をいただくとか、そういった事をいろいろ盛り込んで変わってきているという経緯がある。現在も修正中で、今の時点での内容として説明させていただきたいと思う。この後いただくご意見を踏まえて、来週の再編準備委員会、全体会の時にはできるだけ最終版として出したいと思う。

（新中学校像（修正案）を説明）

1 新中学校が目指す教育

（1）はじめに

（2）新中学校が目指す教育

2 目指す学校像

3 目指す生徒像 4つのC

4 新中学校における特色ある教育内容

部会長 ・ では、新中学校像について詳しくは明後日の学校運営部会で協議されることだが、この場でもここはどうなっているのか、この部分は必要ではないのかという意見などがあったらお願いしたい。

学校運営部会では、言葉のチェックだとか、この文章は違う場所の方がいいとかの議論もされるのか。

事務局 ・ 事務局の方で、本日いただいた意見を踏まえて修正した上で説明し、後の微調整は事務局に任せていただくというようなことを考えている。明後日の部会の後で再編準備委員会が来週あるので、学校運営部会のあとでさらに修正が入るという可能性もある。

委員1 ・ 特色ある教育内容の順番について、1番の高校の先生が入ることがこれでいいのか。2番の方がいいのではないか。順番を考えてこの中学校で本当にやりたいことを1番にした方がいい。細かいことだが、3番のライフデザイン

	<p>の設定は新しくていいと思うが、学問調べとは何か。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生はやるが、大学の学部学科を調べる。要するに大学でどんな学びや研究をされているかを調べること。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・高校体験入学はほかの高校へは行けるが勝高の体験入学は勝高のそばにいるのにどうなのかと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・高校体験入学は勝高だけではなくて、新中学校から別にどこの高校に進学してもいいので、広くオープンキャンパスのイメージで書いてある。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の現状しか知らないがそんなに行かない。勝高には全員行っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ならべて書いてあることをそのまま載せようと思っているわけでもなくて、ライフデザインタイムとかキャリア教育の中身を考えるときに、こんなことを3年間やっていくという意味合いで並べたので、そのまま載ると初めて見る市民の方々は少し違和感があるのかなと思うとカットしてもいいかなという感じはする。補足をさせてほしい。2ページの丸印のねらいだが、最初の案は、高校生と交流して中学生がこう変わりますというような、最初に高校が出てきていて、ワーキングチームの先生方からは勝高ありきみたいな、勝高とやることありきみたいに受け取れるということだった。中学校のねらいなら中学生をこうするためにその手段の一つとして時には勝高生と交流する、それは正しい姿なので目的と手段で入れ替えているとか中学生を主語にして書くようには直している。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームの方の取りまとめをさせていただいている。そのことも含めて話をさせていただく。説明会とかでいろいろな意見を持たれている市民の方々がいらっしゃる時に、どう併設するかという議論に終始してしまってもなかなか理解を得られないだろう。大きい意味で勝山の新しい教育を作るんだ、勝山で生まれた子どもが18歳の成人を迎えるまで勝山のみんなで子どもたちをしっかりと育てていくんだ、という大きい構想のものの一つの施策だ。そういう位置づけを説明しないとなかなかすべての人に理解をいただくというのは難しいのではないか。そこで勝山型18年教育という言葉がよいと思った。書いてある内容が少し大用な話になっているが、皆さんにご賛同いただけるとありがたい。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山型18年教育という言葉は抽象的なのでイメージができなかった。どういうコンセプトでこの18年型教育が謳われているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・確かにこの説明はここにはあまりない。少子化で小学校も中学校も子どもが少ないという世界になる。小中高と特支はみんながというわけではないが、小中高が繋がって接続した中で教育をやっていくというのが勝山型18年教育。18年というと0歳からになるので、幼稚園、保育園も含めての意味合いにもなる。その辺りもどう書いたらいいかなということもある。小中高がそれぞれやっているのではなくてしっかり連携して接続して教育をやっていく勝山の仕組みをこういう言葉で表現してはどうかと思っている。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山型と付いているのでどうかかなと思った。保育園から学校へと立ち上がってくる18歳までの中で、具体的に連携がどういうことを指しているのかがイメージができない。このあたりは結構質問が出てくるのではという気がしている。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した教育環境とある。この文言からはなぜ充実しているのかがわかりに

くい。確かにジオアリーナは体育で使えると素晴らしい。あんな体育館を持っているのは福井高校ぐらいかなと思う。今の長山が変わるから充実した教育環境になるというイメージか。福井大学の周りも文教ゾーンと言われる。小中高大学が集まっていて、美術館があつて今はもっと活用して連携しているのかというイメージがある。文教ゾーンとは一体何なのかという思いもある。

部会長 ・連携は特にはしていない。たまに大学にやって来るが近くの高校だけが来るわけではない。いろんな高校と連携しているスタンス。ここに集約すると催し物とか調べものとかは結構楽かなと思う。大学の作品とかを展示したり図書館で調べ物をしたりなど課外活動はしやすい。ジオアリーナでイベントをやろうとか、長山公園で何かをみんなでしようとか地域の人とやろうとか、そういった課外活動の企画はしやすいかなと思う。

委員 8 ・奥越特別支援学校が浮かんだ。以前は勝高とパン作りを一緒にやったりとか、パンの販売を連携してやったりとかしていた。具体的に書き出すと書ききれないとは思うが、少しイメージが湧いてきて、ここでいろんな学校が集まって本当に活発になるんだなあというようなところが見えてくると、なるほど集まるといいなという思いも出てくるのではないか。長山のある程度の何か案もあるならそれもつけるとあの辺がもっと賑やかで、スポーツとか勉強というゾーンになると見えてくる。説得力もあるし言葉もいいがイメージ図みたいなものがあるともっとわかりやすいのではないか。

事務局 ・文教ゾーンというのは狭い意味で言うと、あのエリアに中学校があつて高校があつて体育の施設があつて、そこをみんなが使いますというような意味合いで使っている。それでは分かりづらいということならばもう少し考えなくてはいけない。確かに特別支援学校が隣接しているので、多様な子達とふれあうインクルーシブ教育もできるし、そういう意味でこのエリアで教育するにはいい場所でそれを作りますということだが、少し言葉が足りないという感じか。長山は市長の思いとしては桜の木を植えるとかして季節ごとに眺めもよくして、アクセスも階段を作ったりして中高生や地域の人が放課後とか休み時間にそこに行って語らうみたいなエリアにしたいという思いがこの文教ゾーンという言葉に込められている。

委員 9 ・そこまで聞くとわかる。長山がどう変わるのかと一般の人は思うかなと思った。ネットで見たが、愛知県で今中高連携をすごく力を入れている。新設するというニュースを見た。中高連携で確か校舎の隣りに建ててこういう形で作っていく。これからの時代の流れに乗っている。そういうことが進んでいるところが結構書いてあった。日本の中でも連携をしてやることを進めていることが多くなったようなことも書けるとどうか。

事務局 ・事務局でも確認してみる。茨城県も各地域に中高一貫校をつくる。学級数は少ないがそれは併設型で高志型。愛知も高志型なのか連携型なのかで、もし高志中高みたいな併設型の中高一貫校だと当然設置者が同じで一緒に校舎に住むということになる。

委員 10 ・ライフデザインタイムの設定とあるが、設定というと新設のような気がする。今まで総合や学活でやってきたことではないか。充実とした方がいいのではないか。設定となると今までしてこなかったのかという気がする。今までし

てきたキャリア教育をさらに幅広く充実させるような書き方の方がいいのではないかと思う。

事務局 ・これは中部中学校がプロジェクトタイムとして月曜日を45分授業にして30分を生み出して、要するに月6相当のところ、毎週そういう時間を設けた。それをイメージして時間割の中にそういう時間を設けるという意味。中学校の現状では総合の時間とか学級会活動の時間とかを使って、それぞれの学習もするし学校行事とかいろんなことが入ってくる。時間が30分になるのかは今からの検討になるが、そういうきちんとした時間を設けて、キャリア教育的なことを子どもたちに主体的に学ばせて、総合とか学級会活動は本来やるべきことを少し整理していく。こういう時間を設けることが、外へのメッセージにもなるしいいのではないかということの設定。元々は一時間の授業の時間を作りたかったが、なかなか難しいという意見もあって何とかタイムという時間にしてはどうかということになった。そういう時間を設けるという説明も必要かもしれない。

委員 11 ・ICTの効果的活用の中で、最後のオンラインによる国内外の学校等のところで実際には対面でやるという話になる。オンラインによるリアルタイムでの国内外の・・・とするとどうか。

委員 12 ・よりわかりやすくということとどんどん分量が増えていくとかえってわかりづらくなってしまふ。そうならないようになればいいと思った。勝山型18年教育について教員は福井型18年教育を知っているので違和感はなかった。初めて読まれる方はわからないし、勝山で取り入れる新しいシステムとなると中高一貫ということになるのか。一般の人にはもう少しわかりやすいほうがいい。表記のことで、「子ども」は、文科省は漢字で書いているので漢字でいいのかと思う。

部会長 ・勝山型18年教育をします。そのためには市民の皆さんが総がかりで教育に関われるように文教ゾーンを設定します。だから高校のところに中学をおいた方がいいという説明だった。そうすると新中学校が中核施設となるよう新校舎を勝山高校の敷地内に建設し・・・の前にジオアリーナなどの文教ゾーンを設置します。とすべきではないか。文教ゾーンを整備します。そのために高校の近くに中学校があった方がよりゾーンとしてできますという流れの方がいいのではないか。

事務局 ・作り込んでいるのでだんだん見えなくなる部分もある。新しい目で見ていただいたときに、ここ分からない、どういう意味かといろいろ言っていただくと気がつくことがある。今日はいろいろ言っていただいてありがたいと思う。全てを反映できるかはわからないができるだけ説明できるように考えたいと思う。

(ZEB化について)

部会長 ・では、次のZEB化について事務局から説明をお願いします。

事務局 ・資料の説明をさせていただきます。

(パワーポイントでZEBの説明)

(資料を説明)

1 ZEBとは

- 2 Z E Bの定義
- 3 学校施設のZ E B導入事例
- 4 中学校におけるZ E B仕様の事例
- 5 福井県におけるZ E B仕様の事例
- 6 新中学校におけるZ E B化の検討

(部会長から事例をパワポで紹介)

- 部会長 ・ Z E B化のことで質問や意見があればお願いしたい。
- 委員 1 ・ 国の補助やシステムはあるのか。
- 事務局 ・ 財政支援は一応条件がある。脱炭素先行地域に指定されれば8%ほどの補助がある。種類によって変わってくるが約10%のコストがかかるのではないかとされている。ほかのいろんな補助も取れるようには努力をしていきたいと思っている。
- 委員 2 ・ 教育システムも校舎も含めていろいろなもののモデル地域とかモデル施設として文科省等の補助をつけるといい。
- 委員 3 ・ 電動は何でもいいかもしれないが、体育館の電動カーテンが壊れて直すのに大変だった。中学生は動くので、バランスを考えていただきたいと思う。ペアガラスを改修の時にしてもらって全然冷暖房の効きが違った。今のトイレもいい。ただ便利なものが壊れると結構直すのに大変になる。ペアガラスを割ってなかなか入らなくて苦労した。施設だけエネルギーとかだけじゃなくて、子どもの動きも考えて配置をするといい。
- 事務局 ・ 省エネに関しては、できる限りのことはしていきたいと思う。子どもたちの関わる部分とか、運営管理の部分についてはいろんな面を見て検討をしていきたいと思う。
- 委員 4 ・ 資料を見ると1年目より2年目が下がっていたが、Z E Bの使用は毎年下がっていくのか。
- 部会長 ・ 下がったのはたまたまかもしれないが、日射量が減ったりとか、寒い日が続いたりすると空調はかかる。気象変動によって多少変わってくる。
- 委員 5 ・ 温暖化にはいいのか。
- 部会長 ・ 冬に対してはそうなる。太陽光発電は若干効率が下がってくるかもしれない。リスクとしては変化させるシステムが壊れるとコストがかかる。10年ぐらいで壊れやすい。
- 委員 6 ・ 成器西小の太陽光システムが壊れていたが以前よりは長持ちするのか。
- 部会長 ・ 以前よりは壊れにくくなってはいるが壊れないとは言えない。最近壁につける太陽光発電もある。
- 委員 7 ・ 寿命は10年ぐらいか。
- 事務局 ・ 保証は10年ぐらい。
- 委員 8 ・ 今度の中学校のZ E Bのランクはどのくらいなのか。
- 事務局 ・ Z E Bを目指したいところではあるが、積雪地帯ということもあるので、Z E Bレディぐらいまでは目指せればと思う。その中で太陽光など少しでもできるように検討はしていきたい。費用の面もあるので、全体のバランスの中で検討に入りたいと思う

委員 9	・勝山高校と中学校で電気の管理は別になると思う。高校の校舎を中学生が使うとその時の電気代はどうなるのか。
事務局	・今の段階では言いにくい。北電では一仕切りワンメーターみたいな形があるので、勝高の中だと一つの契約なのかもしれないし、そこからメーターを分けてという話になるかもしれないし、中学校は中学校で電気を取れるかもしれない。
委員 10	・ハード的な部分はいいのだが実際にソフト的に校舎も使う。使っていた時の電気代とかはどうなるのか。
事務局	・その辺りは今後の県との協議になってくると思う。
委員 11	・セントラルヒーティング的に全館暖房とか全館冷房とかみたいな形にして、廊下も教室も全部温かいからいいと思ったが何かで壊れると全館が大変になる。むしろ教室は別の方がいいのではないか。ZEBの考え方としてはどうなのか。
事務局	・今の段階では、全館か個別かははっきり決まっていない。高効率の空調機になる可能性もあり一長一短はあるので全体を踏まえて計画をしていきたい。
部会長	・個別の方がいいかなとは思。清水建設が金沢市に作った社屋は、個別空調になっていてさらに座席一つ一つに空調口がある。スマホで操作して空調が出てくるとか、体感温度は人それぞれに違うので、それを全部個別に空調をしていくというのが今の最新のシステム。空調が天井にあって人がいる位置を全部把握してそこに目がけて空調するシステムもある。
委員 12	・停電するが自己発電は持っているのか。特に冬場。
部会長	・持っている。水素エネルギーを使って自分で発電する。
委員 13	・非常事態になったときに電気を使っていると対応できない。
部会長	・設計事務所が入ってくるとコストのこともあるが、アドバイスをいただけけるのではないかと。
委員 14	・学校でこのようにすると教育的には身近に環境のことを考えられる。時代の流れ的にもいいと思う。建物を作る段階で高断熱化とかにする、今建築の技術も進んでいけば省エネになる、家でも高断熱ですごく温かくなっていてストーブ一つでも温かい。そのようなことを目指しているのかなと思う。太陽光は見栄え的にも一番自然の力を使っているということで個人的にはしていただきたい。太陽光パネルの引き受けは非常にリスクが高いし10年くらいのサイクルで何か起きたり雷が落ちたりということもあるかもしれないが、設計の時点で考えていただければいい。
委員 15	・せっかく作るので全館暖房にしていればいいなと思うし、全館暖房なら廊下も温かいといいなと奥越特別支援学校に行って思った。ただ渡り廊下でつなぐので考えないと省エネには無駄ができるかなと思う。
事務局	・空気の層で遮ることもあるのかもしれないが、省エネの観点から検討はしていきたい。
部会長	・意見は出たということでZEBについては引き続き検討をしながら進めていく。いろいろなご意見に感謝。最後に事務局にお返しする。
事務局	・本日は施設整備部会で明後日学校運営部会を行い、来週の金曜日に全体会として再編準備委員会を予定している。ご協力をお願いしたい。以上で第5回の施設運営部会を終了したい。

資料1. 新中学校の中学校像（修正案）

資料2. ZEB化資料